



第74回国民体育大会冬季大会

北国の 雪と氷に 刻む夢

イランカラテくしろさっぽろ国体

スケート競技会・アイスホッケー競技会 <<北海道釧路市開催>>



第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H31.2.4 Vol.5

ショートトラック

★少年種別が大活躍！

ショートトラック 500m。前日の1000m同様、各種別に2名ずつエントリーした。成年は男女とも準々決勝までに敗退したが、少年は男子の井上幹皓選手がA決勝に、同じく男子の田平修大選手と女子の高橋花菜がB決勝に進出した。A決勝の井上選手は、スタートの競り合いに出遅れたものの、粘り強くトップを追い、見事3位に入賞した。B決勝の田平選手はレース中盤の転倒があったものの、7位入賞。高橋花菜選手は、レース終盤まで先頭でレースを引っ張るも、最終コーナーで抜かれ、2着でゴールし、5位入賞。高橋選手は昨日の1000mに続き、連続入賞となった。



【高橋選手】



【井上選手（上）と田平選手】

★成年女子リレー入賞！

ショートトラック成年女子3000mリレー。昨日、準決勝が行われ、本日のB決勝を迎えた（他県の棄権等により予選は不実施）。結果は、最下位でのゴールであった。実は、今大会は選手不足により、リレーの参加が危ぶまれる状況であった。しかし、一線を退いた元選手などに声をかけ、なんとかメンバーを揃えて出場することができた。これは福岡県スケート連盟の、「なんとか福岡県に貢献したい」との強い気持ちの表れであり、改めてチーム福岡の結束力を感じたエピソードであった。8位入賞を果たし、チーム福岡を象徴する貴重な1点となった。



【(左から) 古賀・森・弥中・渡邊の各選手】

HP「ふくおかスポネット」でもニュースレターを配信しております。ぜひご覧ください。

作成者：福岡県選手強化推進実行委員会事務局〔福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課〕

TEL：092-643-3924

